

衆議院議員 小松裕氏 × 騷人社代表 師尾喜代子氏

MCI 診断士養成講座 長野にて会談



衆議院議員の小松裕氏が、4月26日に長野市で行われた「MCI 診断士養成講座 長野」に参加され、騷人社代表の師尾喜代子氏と会談を行いました。



T OSSの社会貢献活動や教材について説明する師尾氏。開発中の、Gペンを用いた「アタマげんきどどこ」を実演し小松氏も興味を示していました。全国の認知症予防の講座についても医者ではなく地域の方々が行うことに感心され、長野県内の活動に「顔を出してみたい。もっと情報があれば教えてほしい」とおっしゃっていた。

師尾氏から認知症予防手帳の提案を受けると「長野から発信したい」と大変意欲を示されました。長野県須坂市で行われている保健補導員制度(地域の女性が健康について学び、伝える活動)を例に、「予防とはみんなに知ってもらうこと」と地域の大切さを強調された。最後には「しっかり応援したい」と言っていた。



小松裕氏 長野県出身 医学博士・日赤医療センター、国立スポーツ科学センターなどで内科医やスポーツドクターとして活躍。アトランタ（1996 野球）シドニー（2000 ソフトボール）・アテネ（2004 ソフトボール）北京（2008 野球）など5回のオリンピックにチーム・本部ドクターとして帯同。ワールドベースボールクラシック（WBC）チームドクター。体操、レスリングなどの世界大会にも数多く帯同する。当選後は、認知症対策議連の事務局次長を務める。